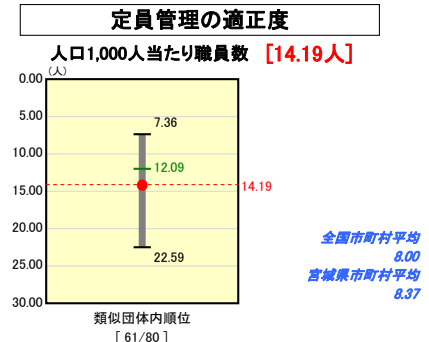
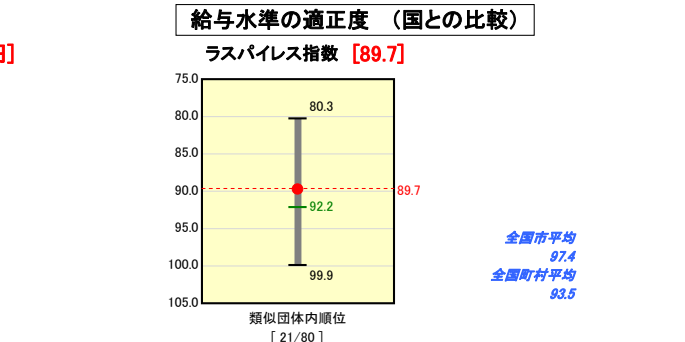
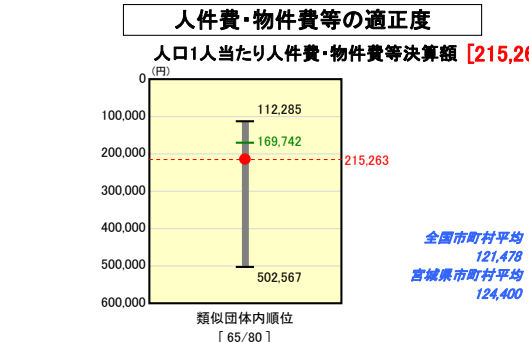
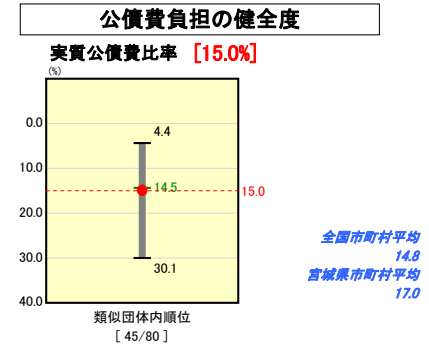
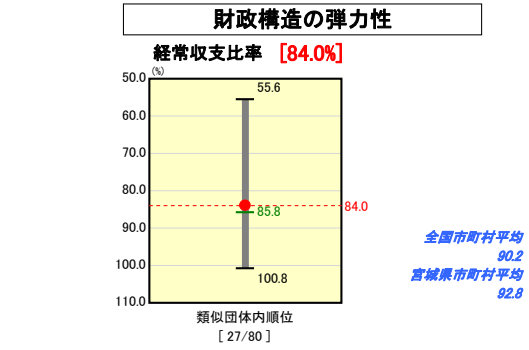
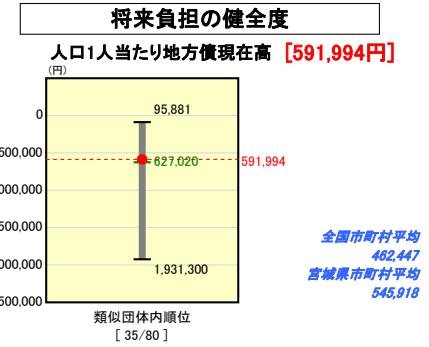
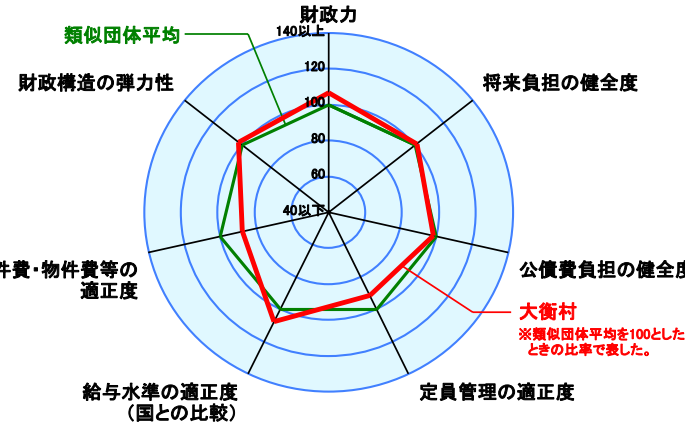
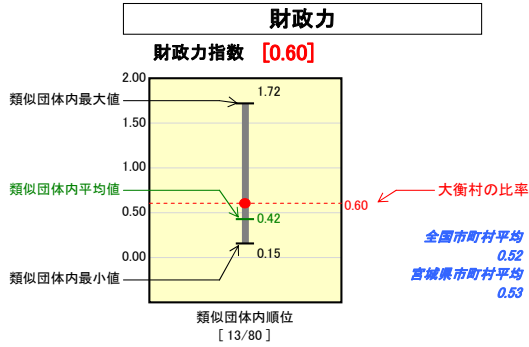


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

宮城県 大衡村

人口	5,709	人(H18.3.31現在)
面積	60.19	km ²
歳入総額	3,375,787	千円
歳出総額	3,183,957	千円
実質収支	191,830	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

■財政力指数
・ここ3年間で連続した伸びをみせており、0.60となっている。これは企業立地等に努め、村税の確保に努めたことが要因としてあげられる。これからも村税を中心とする歳入確保に努める。

■経常収支比率
・各事業の削減を図ったことにより類似団体平均を下回っている。今後とも、事務事業の見直しを更に進め、事務事業の優先度を厳しく点検し、優先度の低い事務事業については計画的に廃止・縮小に努め経常経費の削減に努める。

■人口1人当たり人件費・物件費等決算額
・類似団体平均をはるかに上回っている。物件費等を見直し、より一層の削減に努め適正度を図る。

■ラスパイレス指数
・類似団体の平均よりも低水準にある。行政改革により、管理職の数を減らし抑制に努めているものである。より一層の給与の適正化に努める。

■人口1人当たり地方債現在高
・現在は計画的な借入及び償還に努めている。今後は適切な地方債管理を行い交付税未算入地方債の発行抑制を行い、類似団体平均を上回ることのないように努める。

■実質公債費比率
・類似団体平均を上回っているが、今後適切な地方債管理を行い、水準を抑える。

■人口1,000人当たり職員数
・類似団体平均を大きく上回っている。早期退職の勧奨又は定年退職者の不補充など、職員の削減を図るとともに計画的な職員の定員管理に努める。